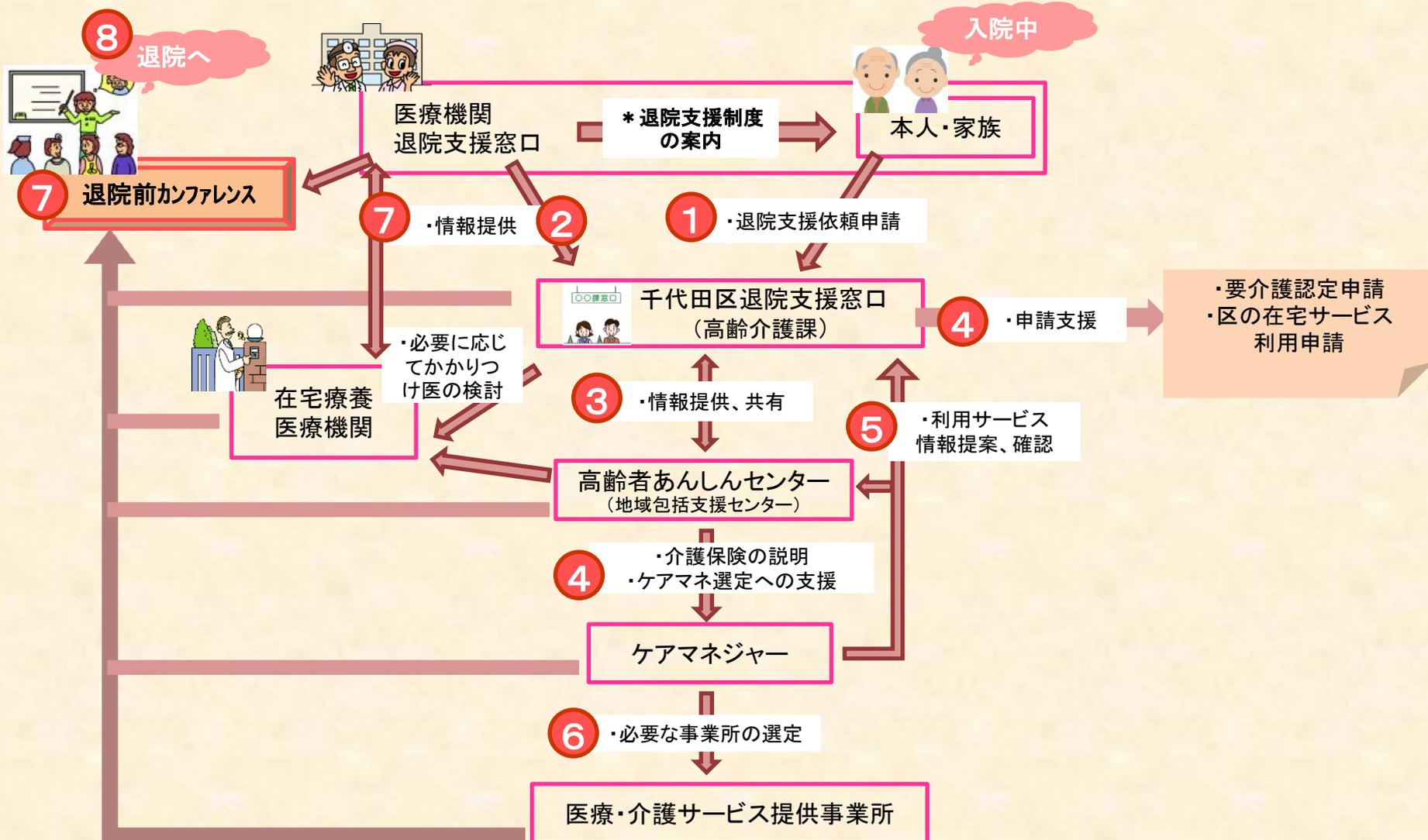


千代田区高齢者退院支援制度の概要

高齢者等が入院治療を終えて退院する際、療養者とその家族が安全に安心して在宅療養できるように、区と高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）が連携のもと、医療・介護サービスの全体コーディネートを行い、各関係機関と協働してチームケアの効果が最大限に発揮できる体制を構築する。



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	東京都千代田区
②人口（※１）	52,748人（H25.4.1現在）（ ）
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上 それぞれについて記 載）	65歳以上：18.8%（ ） 75歳以上：9.7%（H25.4.1現在）
④取組の概要	◎千代田区高齢者退院支援制度 高齢者等が入院治療を終えて退院する際、療養者とその家族が安全に安心して在宅療養できるように、区と地域包括支援センター連携のもと、医療・介護サービス全体のコーディネートを行い、各関係機関と協働してチームケアの効果が最大限に発揮できる体制を構築する。平成24年度モデル事業として8件実施。
⑤取組の特徴	区が相談・支援依頼の第一報を受付ける窓口となり、更に地域包括支援センター等と連携して、入院先病院の退院支援担当者と積極的に情報を共有。療養者の心身状態、生活状況、介護力をアセスメントし、区の制度の活用、介護保険の導入、退院前カンファレンス開催の調整を行うなど、全体コーディネートを図り、在宅療養へのスムーズな移行支援を行う。
⑥開始年度	平成24年度（モデル事業として実施）
⑦取組のこれまでの経 緯	地域包括ケアシステムの中核拠点として、千代田区は平成27年秋、九段坂病院と合築のもと「（仮称）高齢者総合サポートセンター」の開設を計画している。センターに位置づける「高齢者の様々な相談拠点」と「在宅ケア（医療）拠点」は重要な機能であり、医療と介護の円滑な連携による在宅療養支援ネットワークの構築を目指している。その構築に向けて、モデル事業を通して課題を検証し、「顔の見える連携」の実現を模索している。
⑧主な利用者と人数	千代田区在住の介護保険被保険者で入院加療をしている者のうち、本制度の利用を希望する者
⑨取組の実施主体及び 関連する団体・組織	実施主体：千代田区 関連する団体組織：入院医療機関、高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）、介護サービス事業者、在宅療養担当医療機関、ちよだ成年後見センター他
⑩市区町村の関与（支 援等）（※２）	
⑪国・都道府県の関与 （支援等）（※３）	
⑫取組の課題	・療養者、家族及び医療と介護関係機関の円滑な情報共有策 ・退院支援調整の際のスムーズな流れの検証及び各関係機関の役割連携の明確化 ・区外の医療機関への周知方法
⑬今後の取組予定	昨年度の取り組みから課題を整理し、「（仮称）高齢者サポートセンター」開設に向けて在宅療養への支援体制の構築を目指す。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	担当部署：千代田区高齢介護課相談係 連絡先：5211-4226

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。